

「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail : kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP : <http://kibou-donguri.org>

夏だ！祭りだ！ワッショイ！！



今年の8月、3年ぶりに開催された旭ヶ丘のお祭りに、これまで同様出店参加させていただきました。障害のある方々が集う事業所がこのように地域の祭りに参加させていただく機会をいただけることは、大変ありがたく、またとてもうれしいことです。当日は地域の方々に、どんぐり工房を知っていただくことができました。そして、利用者が手掛けた製品もたくさん購入していただきました。売り上げは、利用者の工賃として支給されます。利用者にとっても大きな励みとなりました。この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。(M)

地域活動支援センターどんぐり工房

商品・活動 紹介

詩集 31 作



2年くらいコロナが怖くて、どんぐり工房に来れませんでした。やっと怖さが取れて来て書いた新作です。光を見つけて決心してがんばろうと一生懸命書きました。
(とも) 値段 300円

七夕飾り

7月、提灯、輪飾り等を作り、願い事を記入して七夕飾りを行いました。みんなの願い事…叶いますように(^_-)-☆



ブルーベリー収穫



7、8月暑さ厳しい中、汗水流しながら頑張って一粒一粒収穫しました。今年も豊作でした(^^)／

旭ヶ丘お祭り



旭ヶ丘お祭りに出店しました。クッキー、イヤリング等品切れになる品物もある程大盛況でした。お買い上げくださった皆さま、ありがとうございました。輪踊りも上手に踊る事が出来ました。数年ぶりに見た花火はとても綺麗で良かったです 𠬞



農園ボランティア募集しています



○作業内容:ブルーベリー、キウイ、じゃがいも、ナス等の植付、収穫、草刈りなどの農地整備

○場所:成山 ○作業日:毎週金曜日 ○時間:午前中

連絡先:どんぐり工房(担当:中山・荒谷)

受付時間:月曜日～金曜日 10時～15時

電話 043-421-6645



日陰の山

周囲を高い山に囲まれながら
頑固なまでに

そこに在ろうとする日陰の山

昔Kさんという人がいた。骨格たくましい、嘘の
つけない、明朗な、ただ頑迷な人だった。私の幼か
ったころ、まだ幼稚園に通うことも湧きださない頃
の話である。私は珍しく遊び場所の裏道から離れ表
通りの八百屋に顔を出した。不図ざるに盛られたき
ゆうりを眺めた。一五円と書いてある、はて、一本
いくらであろう。三本で一五円としたら、値札をよ
くよく見てみた、そこで漢字を眺めた、きゆうりと
書かれた文字の下に漢字で胡瓜と書かれている、
「へー、漢字で書くところなるのか」と感嘆した、
漢字とは難しい。

そこへ大きな声で話す婦人がいた。年恰好は私の
母に似ているがいかにも頑固そうな表情をしてい
た。

「きゆうりっていくらだい」
「だから値札に書いてあるだろ」
「こんな文字読めやしないよ、一本いくらだい」
「うちじゃ一本では売らないよ、三本で一五円だよ」
店の女将は答えていた。
「一本だといくらになるかね」

隣にいた女性に小さい声で訪ねていた。その女性
は細身で小柄な人だった、ただもんぺをはいている、
農家の主婦であることはすぐ知れた。

「へー、ええと、一本五円かね、少し高いんじゃない
のかい」

店の女将に声をかけた。

「なに言ってるんだい、うちは良いものを安く売
っているんだよ」

女将は負けていない。繁盛しているのだろう、屋
の合間なのに町中のご婦人たちが燦々囁々と集ま
っていて店先から溢れていた。私は人込みから抜
け出し混み合う八百屋から離れた。私の手に持っ
ていたのは五円玉だけだったからである、きゆう
りはうちの庭でも作っている、食べたい時に食べ
られる、果物でも思ったが五円では何も買えな
いらしい、諦めるほかなかった。

その翌日だったか、まだ名前も判らぬご婦人は
今度は息子を連れてきた。

「お前は目利きはできるかい」

「目利きってなんだい」

「一目見るだけでその良し悪しを見ることがよ、
どうだい」

「そんなのやったことないし、だいたい農作業も
やっていないしなあ、見るだけで判るもんかな」

息子という人は困りはてているようである。

「そういえば向こうの八百屋で安く売っていた」
そう言っでご婦人と一緒に向こうの八百屋に行
ってしまった。

「安くねえ」

向こうの八百屋の旦那は考えた。そこで思案し
て色の悪いものを三本集めてきた。

「色は悪いが、なに、味は変わらないだろう、これ

なら三本五円でいいや」

二人連れはそれなら買うよと言ってしまった、
見た目は素人の私でも不審に思ったのである。次
の日である、ご婦人は怒り余って蒼白な表情で向
こうの八百屋に喧嘩を売るような思いで駆けてく
るのである。

「煮ても焼いても食えないじゃないか」

ご婦人は怒っていた。

「じゃあ残ったものを返してくれよ、俺も食べて
みるから、全部食べちゃったのかい」

「喰えた代物じゃないから捨てちゃったよ」

「それじゃどうしようもないじゃないか」

五円を返せとそのご婦人は言いたかったが店の
主人にしても致し方なかった。容易に五円を返さ
ない、ご婦人にとっては腹が立つだけではすまな
かった。

「喰えないものを売りつけてそれで平気でいられ
るのかい」

こうなると大人の喧嘩である、私ははらはらした。

この店の主人、その当時では珍しい地方都市の
高校出の工員だった、店の者に気に入られこの田
舎町へやってきた、腕に全く覚えがないのである。

そうこうして数日たって店の主人が折れた。

「こないだは悪かったね、五円は返すからうちの
店でも買ってくれよ、俺も商売を始めて間がない
もので勉強するから」

腹を立てたご婦人はその店でしばらくの間何も
買おつとはしなかったので主人は困惑したのであ
る、悪い噂でも立てられたらと。

精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

どんぐり工房

のご紹介

お家から

一歩外へ

出ませんか？

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。

やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ダイヤモンド等）
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

どんぐり工房の活動時間および定員

開所日 月～金曜日
（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

皆様の見学を心よりお待ちしております。

見学大歓迎

アクセス：四街道駅北口 徒歩1分

連絡先：四街道市四街道1-6-1 田中ビル3F

TEL：043-421-6645